



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 シーケーディ株式会社
コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 梶本 一典
(氏名) 舟橋 典孝
配当支払開始予定日

TEL 0568-74-1006
平成22年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	34,907	66.1	3,677	—	3,692	—	2,193	—
22年3月期第2四半期	21,012	△45.7	△1,534	—	△1,310	—	△1,032	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	35.29	—
22年3月期第2四半期	△16.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	67,156	42,882	63.9	689.79
22年3月期	62,869	41,480	66.0	667.24

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 42,882百万円 22年3月期 41,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
23年3月期	—	6.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	35.9	6,300	—	6,100	757.4	3,600	140.9	57.91

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 69,429,349株 22年3月期 69,429,349株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 7,261,942株 22年3月期 7,261,892株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 62,167,429株 22年3月期2Q 62,168,223株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2.	その他の情報	3
	(1) 重要な子会社の異動の概要	3
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書	6
	【第2四半期連結累計期間】	6
	【第2四半期連結会計期間】	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記	9
	(5) セグメント情報等	9
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4.	補足情報	11
	〔生産、受注及び販売の状況〕	11
	〔所在地別セグメント情報〕	12
	〔海外売上高〕	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、中国や韓国をはじめとしたアジア地域や新興国の経済成長により各国とも回復基調で推移しました。わが国経済も外需や景気刺激策による個人消費の持ち直しにより企業収益が改善し、設備投資に波及するなど穏やかに回復しました。しかしながら雇用や所得の回復は遅れており、急激な円高の進行や欧米の景気の先行き懸念など不透明な状況で推移しました。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル体質への変革、コスト改善、環境対応商品の開発に取り組み、売上高34,907百万円（前年同四半期比66.1%増）、営業利益3,677百万円（前年同四半期は1,534百万円の営業損失）経常利益3,692百万円（前年同四半期は1,310百万円の経常損失）、四半期純利益2,193百万円（前年同四半期は1,032百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,286百万円増加の67,156百万円となりました。これは主に、売上高の回復に伴う売上債権及び棚卸資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,885百万円増加の24,274百万円となりました。これは主に、借入金の返済による減少はありましたが、受注の回復に伴う仕入債務の増加や課税所得の増加に伴う未払法人税等の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,401百万円増加の42,882百万円となりました。これは、四半期純利益の計上、配当金の支払い及びその他有価証券評価差額金の減少を上回ったことによるものであります。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント減少の63.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて197百万円減少し、5,383百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,424百万円（前年同四半期比73.5%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,581百万円、減価償却費1,248百万円、賞与引当金の増加1,646百万円、仕入債務の増加1,786百万円による資金の増加、未払賞与の減少1,259百万円、売上債権の増加3,377百万円、たな卸資産の増加2,336百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、256百万円（前年同四半期比56.0%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出193百万円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1,304百万円（前年同四半期比63.5%減）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額753百万円及び長期借入金の返済350百万円、配当金の支払額187百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年7月30日に公表いたしました平成23年3月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想数値を上方修正いたしました。

詳細につきましては、平成22年10月29日に別途公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ2百万円減少しており、税金等調整前四半期純利益は80百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は127百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,497	5,682
受取手形及び売掛金	19,548	17,479
営業未収入金	2,491	1,280
商品及び製品	3,671	2,828
仕掛品	1,625	1,542
原材料及び貯蔵品	9,929	8,543
その他	1,799	1,736
貸倒引当金	△46	△48
流動資産合計	44,516	39,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,696	9,033
その他(純額)	10,063	10,201
有形固定資産合計	18,759	19,235
無形固定資産		
投資その他の資産	285	333
固定資産合計	3,593	4,255
資産合計	22,639	23,824
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,262	9,618
短期借入金	3,251	4,012
未払法人税等	1,464	509
賞与引当金	1,686	42
その他の引当金	133	55
その他	3,260	3,473
流動負債合計	21,059	17,712
固定負債		
長期借入金	1,650	2,000
引当金	472	607
その他	1,092	1,069
固定負債合計	3,214	3,676
負債合計	24,274	21,388

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,610	12,610
利益剰余金	24,662	22,655
自己株式	△4,938	△4,938
株主資本合計	43,350	41,343
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	472
為替換算調整勘定	△475	△334
評価・換算差額等合計	△468	137
純資産合計	42,882	41,480
負債純資産合計	67,156	62,869

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	21,012	34,907
売上原価	17,155	24,803
売上総利益	3,856	10,103
販売費及び一般管理費	5,391	6,425
営業利益又は営業損失(△)	△1,534	3,677
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	37	37
為替差益	71	—
助成金収入	145	0
その他	112	148
営業外収益合計	375	192
営業外費用		
支払利息	59	38
売上割引	56	52
為替差損	—	62
その他	36	25
営業外費用合計	151	177
経常利益又は経常損失(△)	△1,310	3,692
特別利益		
前期損益修正益	61	—
固定資産売却益	7	2
賞与引当金戻入額	290	—
補助金収入	—	2
その他	3	0
特別利益合計	363	5
特別損失		
前期損益修正損	49	—
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	21	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	78
その他	16	20
特別損失合計	88	116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,035	3,581
法人税、住民税及び事業税	20	1,416
法人税等調整額	△24	△28
法人税等合計	△3	1,387
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,193
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,032	2,193

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	11,617	18,877
売上原価	9,323	13,298
売上総利益	2,294	5,579
販売費及び一般管理費	2,678	3,274
営業利益又は営業損失(△)	△383	2,304
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	5	3
仕入割引	—	12
為替差益	18	—
助成金収入	47	—
法人税等還付加算金	34	—
その他	32	31
営業外収益合計	142	51
営業外費用		
支払利息	27	19
売上割引	26	26
為替差損	—	103
その他	22	14
営業外費用合計	75	164
経常利益又は経常損失(△)	△316	2,191
特別利益		
前期損益修正益	0	—
固定資産売却益	2	0
補助金収入	2	0
その他	—	0
特別利益合計	6	1
特別損失		
前期損益修正損	49	—
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	16	11
その他	0	4
特別損失合計	66	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△376	2,176
法人税、住民税及び事業税	6	1,301
法人税等調整額	△16	△460
法人税等合計	△9	840
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,335
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△366	1,335

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,035	3,581
減価償却費	1,434	1,248
賞与引当金の増減額(△は減少)	△421	1,646
未払賞与の増減額(△は減少)	11	△1,259
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	78
売上債権の増減額(△は増加)	3,161	△3,377
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,071	△2,336
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,543	1,786
その他	422	504
小計	4,100	1,872
利息及び配当金の受取額	45	43
利息の支払額	△51	△38
法人税等の支払額	△60	△455
法人税等の還付額	1,339	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,373	1,424
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	—
有形固定資産の取得による支出	△655	△193
その他	76	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△581	△256
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,535	△753
長期借入金の返済による支出	△352	△350
社債の償還による支出	△360	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△311	△187
その他	△19	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,578	△1,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	59	△61
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,272	△197
現金及び現金同等物の期首残高	4,458	5,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,730	5,383

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	自動機械 部門 (百万円)	機器部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,232	14,779	21,012	—	21,012
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	52	58	(58)	—
計	6,238	14,832	21,071	(58)	21,012
営業利益又は営業損失(△)	447	△968	△520	(1,014)	△1,534

- (注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、自動機械部門、機器部門に区分しております。

2. 各事業区分に属する主要製品

事業区分	機種
自動機械部門	自動機械装置
機器部門	省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、 流体制御機器、コントロール機器

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	18,428	2,375	208	21,012	—	21,012
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,718	330	—	2,048	(2,048)	—
計	20,146	2,705	208	23,060	(2,048)	21,012
営業損失(△)	△850	△209	△49	△1,109	(425)	△1,534

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア：マレーシア、タイ、シンガポール、中国、韓国、台湾
(2) その他：米国、カナダ

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	2,861	401	3,262
II 連結売上高(百万円)			21,012
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.6	1.9	15.5

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア：マレーシア、タイ、シンガポール、中国、韓国、台湾等
(2) その他：米国、カナダ、中南米、欧州等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの構成単位は製品の種類別セグメントから構成されており、製品の種類・性質及び販売方法の類似性により「自動機械部門」、「機器部門」の2つを報告セグメントとしております。

自動機械部門では、自動包装システム、リチウムイオン電池製造システムを中心とした大型設備を生産・販売しており、個別受注生産方式を採用しております。

機器部門では、半導体関連業界、自動車関連業界を始めとした幅広い市場に供給できる機能部品を生産・販売しており、需要予測に基づく見込生産方式を採用しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,676	29,231	34,907	—	34,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	71	71	△71	—
計	5,677	29,302	34,979	△71	34,907
セグメント利益	889	3,875	4,764	△1,086	3,677

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,086百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,102百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにシーケーディグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	6,437	+25.0
機器部門	29,166	+90.3
合計	35,604	+73.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	8,882	+104.9	9,389	+111.4

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	5,676	△8.9
機器部門	29,231	+97.8
合計	34,907	+66.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	29,214	5,194	498	34,907	—	34,907
(2) セグメント間の内部売上 又は振替高	4,271	704	—	4,976	(4,976)	—
計	33,486	5,899	498	39,883	(4,976)	34,907
営業利益	3,330	519	8	3,858	(180)	3,677

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法・・・・・・・・地理的近接度による

(2) 各区分に属する主な国又は地域・・・日本：日本

アジア：マレーシア、タイ、シンガポール、中国、韓国、台湾

その他：米国

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	6,083	903	6,987
II 連結売上高（百万円）			34,907
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	17.4	2.6	20.0

(注) 1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法・・・・・・・・地理的近接度による

(2) 各区分に属する主な国又は地域・・・アジア：マレーシア、タイ、シンガポール、中国、韓国、台湾等

その他の地域：米国、カナダ、中南米、欧州等

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。